

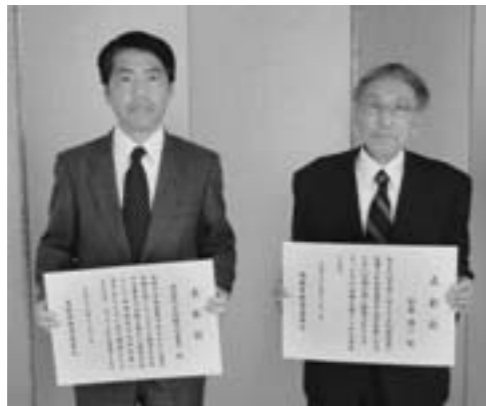
杉原 清一さん(小馬木)に「教育功労者表彰」

奥出雲町文化体験実行委員会に「優れた教育活動表彰」

教育、学術、文化等の各分野において、島根県の教育に貢献した功績が特に顕著なものを表彰し功績を称える、「教育功労者表彰」を杉原清一さんが、「優れた教育活動表彰」を奥出雲町文化体験実行委員会(代表:松下誠 鳥上小学校長)が受賞しました。

奥出雲町文化体験実行委員会は、平成17年度から町内11小学校の6年生を対象に、ふるさと教育の一環として「たたら製鉄」を題材とした体感活動プログラムを実施しています。

この活動により、地域の歴史や産業について子どもたちが理解を深めるとともに、たたら製鉄に関わる人々の願いや思いを感じて、ふるさとへの誇りを培うことにつながっていると、この度の受賞となりました。



▲杉原さん(右)と実行委員会代表の松下校長(左)

杉原さんは、昭和40年代から文化財保護活動を開始し、町内外80件以上の遺跡発掘調査を手掛け、その中でも、製鉄遺跡調査については、島根県における第一人者として、その基礎を築くなど、島根県の文化財保護に大きく貢献されました。

また、町文化財保護専門委員長として、通算38年4ヶ月の永きに亘り文化財保護行政に尽力されるなどの功績が認められ、この度の受賞となりました。

商工

櫻井誠己さん(上阿井)

山陰地区自動車販売協同組合の役員として、地域の経済発展に貢献されています。



農林水産

原田 勲さん(郡)

昭和五十五年頃から平成二十二年までの三十二年の間に、奥出雲指導農業士を務められました。



平成23年度 島根県功労者表彰

理事長に平成七年五月から就任されています。

当組合が、組合員の資金需要に対応するため重点的に実施している金融事業に尽力し、山陰地区自動車販売業界の経営の合理化と安定に寄与されています。

また、平成七年六月には島根中小企業団体中央会の理事に就任。それまでの経験を生かした様々な事業提言を行い、県経済の活性化に尽力されています。

指導農業士として肉用牛振興に尽力 森山義治さん(小馬木)に島根県知事感謝状

森山さんは、平成3年度から20年間に亘り指導農業士を務められました。この間、第9回全国和牛能力共進会への出品や、しまね和牛の改良に積極的に取り組む傍ら、地域の繁殖農家に対しての飼養管理、和牛改良、技術者等の人材育成など、地域の指導者として活躍されました。

また、各種共進会を通して、繁殖農家後継者への情報提供や組織の活性化にも取り組まれました。

この度、期間満了による指導農業士の退任にあたって、永年の功績により感謝状が授与されました。



第12回全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会 島根県男子チーム 準優勝

福井県で11月12日、13日に開催された「第12回全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会」において、仁多中学校と横田中学校のホッケー部で編成する島根県男子チームが準優勝を獲得しました。

全国20府県チームが参加し、トーナメント方式で行われた大会で島根県男子チームは、全国の強豪を相手にトーナメントを順当に勝ち進みました。

最後に迎えた決勝・滋賀県戦では、1対2と惜しくも敗れましたが、健闘し、準優勝に輝きました。

落合晴輝主将(横田中3年)は「普段はライバルの仁多中と横田中が仲間となり、優勝に向かって一つとなって頑張ることができた」と大会を振り返りました。

今後、今回の経験を生かし、さらなる活躍が期待されます。



▲準優勝した島根県男子チーム

渡部 久由さん(下横田) ねんりんピック2011熊本美術展・写真の部で 第3位



▲渡部久由さんと受賞作品「匠」

10月15日から18日まで熊本県で開催された「ねんりんピック2011熊本」の美術展(写真の部)において、渡部久由さんの作品が第3位の「一般財団法人長寿社会開発センター会長賞」を受賞しました。

美術展には、66の都道府県・政令指定都市から選ばれた93点が出品。渡部さんの作品は、7月に開催された「島根県健康福祉祭シルバー美術展」での入賞を受けて出品されました。

「匠」と題した作品は、日本刀の刀匠が精神を集中させ、熱せられた鉄を小槌で打つ姿を撮影したもの。審査では「簡単に見ることができなくなった情景。バックの炎と飛び散る火の粉、振り下ろす金槌、撮影の難しさについてしっかり計算された作品」と高い評価を受けての受賞となりました。



亀嵩小学校PTA活動が全国表彰受賞

「平成23年度日本PTA全国協議会長表彰」

「第33回全国小・中学校PTA広報紙コンクール 教育家庭新聞社社長賞」

亀嵩小学校PTAでは、「見直そう生活リズム 身につけよう読書週間」をテーマとして、PTA会員とその家族が一体となって活動し、読書推進の成果をあげています。

また、PTA広報紙作成をPTA事業の基軸活動とし、会員間の絆を深めているほか、8月に広島県で行われた「第59回日本PTA全国研究大会ひろしま大会」では、約700人の来場者の前で、広報活動について実践発表を行いました。

これらの活動が、他のPTAの範となる優れた活動として、この度の全国表彰受賞となりました。

11月22日には、東京都のホテルニューオータニで表彰式が行われ、PTAの若槻和宏さんと亀嵩小学校の大谷淳司教頭が出席されました。

さらに同広報紙は、第33回全国小・中学校広報紙コンクールにおいて、全国小学校4,083点の応募の中から、第4位となる「教育家庭新聞社社長賞」を受賞しました。この受賞は、昨年の同コンクール写真賞を上回るものとなりました。



▲若槻さん(左)と亀嵩小大谷教頭(右)